

中長期計画共創

特別委員会

令和6年9月19日に委員会を開催し、執行部から説明を受けました。

1 第3次御前崎市総合計画策定のスケジュール等について

令和6年7月16日の総合計画審議会を皮切りに、第3次御前崎市総合計画の策定を開始し、現在、市民ワーキング会議などの会議体で市民の意見を聴取しています。このような会議を重ねて、12月にパブリックコメントを行い、3月には基本構想を議会上程する予定であるとの説明がありました。

問 市長のまちづくりに関する基本構想を示す必要があるのではないか

答 市長の意見を反映させるための市長ヒアリングを適宜行っています。その中に市民の意見を反映させつつ、素案づくりに取り組んでまいります。議会にお示しできる段階になりましたら、相談したいと思えます。

2 公益財団法人御前崎市振興公社について

御前崎市民プール（通称「ぶるる」）などの運営管理を行っている公益財団法人御前崎市振興公社について、法人の目的、設立の経緯、事業内容及び経営状況について、説明がありました。

問 近隣市町に振興公社はあるのか

答 県内には幾つかありますが、近隣にはないと把握しています。

問 公益財団法人は収益事業を行ってはいけないということではないので、振興公社が独自の収益事業を行い、収入を増やす体制を作り、自分たちで赤字を補填する形をとる考えはあるか

答 振興公社と話し合い、検討していきたいと考えます。



原子力対策

特別委員会

令和6年9月19日に委員会を開催し、静岡県原子力安全対策課及び市危機管理課並びに中部電力（株）より、説明を受けました。

1 浜岡地域原子力災害広域避難計画について

○浜岡地域原子力災害広域避難計画策定の経緯

東京電力（株）福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、原子力災害対策重点区域を発電所から半径31kmの距離を目安に定め広域避難計画の策定に取り組んでいます。

○広域避難計画の概要

原子力発電所における原子力災害に備え、原子力災害発生時に住民の避難、一時移転及び屋内退避を迅速確実に実施し、住民の被ばくを可能な限り低減し安全を確保、平時から原子力防災体制の充実強化を進めます。11市町の住民約91万人を対象に、あらかじめ避難先となる市町村を定めます。

2 御前崎市原子力災害広域避難計画について

○浜岡原子力発電所での単独災害時は浜松市へ避難します。

○原子力災害と地震・津波などの複合災害時は、各地区ごとに長野県へ避難します。（詳細は「原子力防災広域避難ガイドマップ」を参照）

3 浜岡原子力発電所の災害対応について

○オンサイト対策
・災害事象の進展制御や影響緩和対応など

○オフサイト対策
・要配慮者のうち避難行動要支援者の搬送支援や放射線防護施設の設営支援など

以上の説明を受けました。

